発 言 通 告 書

発言者氏名	大村洋子
発言の会議	令和7年 5月30日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 2期8年間の上地市政の振り返りについて

- (1) 御自身の公約と照らし合わせて前進させた点と課題が残る点について御所見を伺う。

2 市立福祉援護センターかがみ田苑の運営について

- (1) 4月以降、どのような報告を受けているのか。「横須賀市立福祉援護センター指定管理業務仕様書」の内容が担保された運営になっていると評価しているのか。また、生活介護を含めて、利用者へのサービスが担保されているのか。併せて市長の御所見を伺う。

3 本市に駐留する米海軍及び自衛隊基地関連について

- (1) 原子力空母からの放射性廃棄物の搬出について

ア 「搬出されることはない」というエード・メモワールの文言は放射性廃棄物に関する作業を日本では行わないという宣言だ。2010年の文書が繰り返す1964年、1967年のエード・メモ

ワールのコミットメント（強い意志を持った約束）のありとあらゆる面が引き続き堅持されるという文言は真っ赤なうそとなり、約束は破られたと見るべきだ。「搬出」の解釈について市長の御所見を伺う。

イ 来年から米本国で危険な放射性廃棄物の搬出作業を行うよう要請してはいかがか。

(2) 繰り返される米兵による交通死亡事故について

ア 被疑者は公務外であったことから、日米地位協定第 17 条第 3 項（b）によれば、日本の警察が逮捕し、裁判権を行使する第一次の権利を有していたと解することができる。しかし、実際はそうはならなかった。市長はこのような実態をどのようにお感じになるか。

イ 米海軍横須賀基地司令官レス・ソボル大佐は市長の申入れに対して「透明性をもって日本側当局の捜査に協力していく」と発言されている。ここでいう「透明性」とはどのような意味と市長は受け取られたか。

ウ 交通教育について事務レベルでの協議が始まっていると思うが、実際にどのように共同で検討しているのか。進捗はいかがか。また、これらの検討を通じて、米軍と日本の交通教育、交通安全への認識等で何か違いが明らかになったのか。今後の方向性はいかがか。併せて市長の御所見を伺う。

エ 今回の裁判の中で異例だったのは在日米海軍司令部法務部長が、執行猶予付有罪判決が確定した場合には、被告人を受入国から米国本土へ移送することを迅速に検討するという米国の方針を述べたことである。この方針を適用させぬよう、要請をしていただきたいと思うがいかがか。

オ 現在、「外国免許切替」が話題となり、法整備の方向が出されたが、在日米軍に対する運転免許証の取扱いや交通ルールについての変更はあるのか。

(3) 米海軍横須賀基地ゲート前における米兵の銃の携行について

ア 駐留軍兵士（米兵）が基地の外で銃を携行してよいのか。銃を携行する目的は何か。どのような根拠でそれが可能なのか。

併せて市長の御所見を伺う。

イ 市民に対して威圧的、威嚇的だと思うので、二度と行わないよう市長から米海軍に要請してほしいが、いかがか。

ウ 明らかに米軍の本市への協力要請、あるいはそれに伴う行動制限の要素がエスカレートしてきていると言わざるを得ない。地域主権主義者を標榜する市長から見て、このような米軍の動きに対してどのような御所見をお持ちか、伺う。

エ 日米地位協定は運用改善では限界にきている。抜本的な改正こそが望まれると考えるが、市長の御所見を伺う。

(4) 浦郷弾薬庫、棧橋の整備とトマホークの配備について

ア 浦郷倉庫地区は米艦船が直接接岸し、弾薬の積卸しができるよう棧橋を整備してきたと思うが、現段階でこの工事の進捗状況はいかがか。どのような説明、報告を受けておられるのか。また、この付近に新たに提供される1.3ヘクタールの水域があるが、提供される水域は確定したのか。併せて伺う。

イ トマホークの配備について、国からあるいは米軍からどのような説明、報告を受けているのか。何も説明、報告を受けていないのであれば、早速現状把握をすることが必要だと思うがいかがか。

4 日産自動車追浜工場の動向について

(1) 市長は5月19日の記者会見で経営再建計画を担当している幹部の方とお話しされ、「報道は憶測に基づくもので、現在さまざまな検討している段階で、社内で確定しているものは何もない」との説明を受けたとおっしゃっている。この説明は追浜工場の動向についての縮小、移転、閉鎖の可能性を打ち消してはいない。これでは市民の不安払拭にはなっていない。市長はこの説明で納得されたのか。今までどおり事業を続けてほしい旨を伝えなかったのか。

(2) 労働者の継続雇用のために働きかけを行うこと、また、地域に与える影響を最小限に食い止めるべく尽力すること、これら

を先頭に立って進めていただきたいと思うが市長のお考えはいかがか。

- (3) 記者会見以降、現時点で追浜工場の動向について最新情報があれば、示されたい。
- (4) 仮に追浜工場が縮小、移転、閉鎖となった場合、労働者の雇用問題、追浜のまちづくり、関連工場、関係取引先事業者への影響等、本市としては市政を揺るがす重大事項となる。国や県との連携と同時に市役所内に対策のプロジェクトチームを立ち上げる必要があると思うが市長のお考えを伺う。